



12月 健やか子育てだより

大田区保育サービス課
保育園看護師

今月のテーマ

おう吐物の処理

冬は、おう吐の原因となるノロウイルスなどの感染症が流行しやすい季節です。感染力が強いため、ご家族にも感染が広がらないよう「**素早く、丁寧に、正しい手順**」で処理することが大切です。

<おう吐物処理の手順>



- ① 拭き取るための布やペーパータオル、ビニール袋、塩素系漂白剤、バケツを用意し、使い捨てのエプロン・手袋・マスクを着用します

【ポイント】

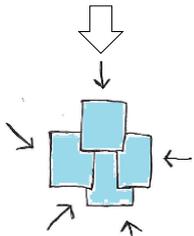
処理をする時とその後は、部屋の窓を大きく開けるなどして換気しましょう



- ② 0.1%消毒液を作ります

【0.1%消毒液の作り方】

水 500 ml に対して、塩素系漂白剤
ペットボトルキャップ 2 杯 (10ml)



- ③ 布やペーパータオルで、おう吐物の外側から内側に向けて、全体をぬぐい取りビニール袋に入れます

- ④ おう吐物のあった場所とその周辺を、0.1%消毒液を染み込ませたペーパータオルや布で覆います。10分程度経ったら覆っていたペーパータオルや布はビニール袋に入れ、水拭きします

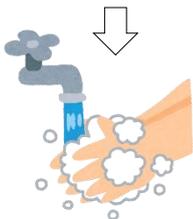


- ⑤ エプロン・手袋・マスクの順で外します

- ⑥ 拭き取った物や使ったエプロン・手袋・マスクはビニール袋に入れて口を閉じ捨てます



- ⑦ 手洗い・うがいをします



塩素系漂白剤について

- ・吸い込んだり目に入ったりしないように注意しましょう
- ・漂白剤の成分が残らないよう、しっかりと水拭きを行います
- ・「使用上の注意」をよく読んで使用しましょう

参考：特別区「家庭や施設における 二次感染予防ガイドブック」
 厚生労働省ホームページ 「ノロウイルスに関するQ&A」
 東京都福祉保健局 「家庭でできるノロウイルス対策」(令和2年11月)
 東京都福祉保健局 「食品関係事業者向け 防ごう！ノロウイルス感染」(令和2年3月)